



ヒューマンハーバー

11月号 協同組合ハイコープ組合報
Vol.199 2011年(平成23年)11月10日(木)発行



◆10/8 山梨地区本部主催
「第7回甲斐路100km歩け歩け大会」



◆11/9 長野地区本部主催「日帰り研修」
「新開発・光変換ピンク農法」実験農場視察

CONTENTS

巻頭	1
いい世の中づくりに力を合わせましょう	2
経営トップの修学旅行研修レポートその4 信越地区本部 (株)北陽 羽尾光男氏(前号からのつづき)	2
【長野地区本部事業報告・人材づくり研修】 中堅・リーダークラスパワーアップ社員研修	4
【レポート】(株)スワコー 技術課 山田潤	5
【長野地区本部事業報告・資金づくり研修】 銀行のホンネ教えます。売上を変えずに会社にお金を残す方法	5
【レポート】諏訪事務機販売(株) 代表取締役 林 史章	5
【山梨地区本部事業報告・人材づくり研修】 第7回甲斐路100km歩け歩け大会 【大会報告】実行委員長 戸澤義春	6
【レポート】(有)田中洋装 山梨ユニフォーム浅野小百合	7
写真で綴る関連事業・スケジュール	8
PETIT情報・編集後記	8

ギリシャの財政破綻 問題が飛び火

ギリシャの財政破綻問題、イタリア、スペイン、キプロスと飛び火しユーロ圏の経済危機が一気に浮上してきました。

この問題は今後フランスへそして世界の金融市場に波及する状況となってきました。すでにアメリカのカリフォルニア等地方自治体の財政破綻が報告されています。多額の借金を抱える日本にも深刻な事態となってきました。消費税の増額や、TPP問題に揺れる日本の政財界。経済的弱者の中小零細企業、小規模農業者、震災被害者、一般勤労者の声は届かず大混乱の様相を呈してきました。特にマスコミに時々登場する日本の財界団体の長の声は「今だけ、自分だけ、お金もうけだけ」に思えてなりません。ここ数年前から大手企業は安い労働コストを求めて工場の海外進出は著しく、国内特に地方産業は空洞化し、中小零細企業の仕事は激減、若者の雇用の場は奪われ大変な状況となっています。

これが船井幸雄氏や朝倉慶氏がいう「資本主義の崩壊」の序章なののでしょうか。本誌でも再三取り上げてきましたが、2012年秋、世界経済大混乱期の最終章となり、よい世の中に向かうか、衰退の道に向かうかの岐路、日本人の行動と精神性に期待がかかっています。